学校番号	３１８

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）基礎理科演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「化学基礎」　（数研出版）						
副教材等	新課程　Visual Select 化学基礎ノート　（数研出版） 新課程版　セミナー化学基礎　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次に履修した「化学基礎」の発展的な内容である。振り返りをしつつ学習の内容を深めていき、大学入学共通テストに対応できるような力を身につける。１年次と同様に身近な例を取り入れながら科学的な思考を基礎から定着させる。そのために生徒実験を多く取り入れ、実験を通じて化学変化や、物質のあり方を学習し、論理的、科学的考え方を身につけていく。

2　学習の到達目標

（ａ）日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察や実験などを行い、その知識と技能を身につける。
（ｂ）観察や実験などを行うことで化学的に探究する能力を養う。実験結果等の図表を読み解く能力を養う。
（ｃ）物質とその変化に主体的に関わり、化学的に探究しようとする態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な見方や考え方を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	酸化還元反応	酸化と還元	a:電子の授受が酸化還元反応の本質であることを理解している。 b:酸化還元反応を酸素や水素の授受から発展させて、電子の授受や酸化数の変化と関連づけて説明することができる。 c:酸化還元反応を酸素や水素の授受から発展させて考えていくことに興味を持つ。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述 実験の取り組みなど
	粒子の結合	分子間にはたらく力	a:電気陰性度の違いによる電荷のかたよりと極性、分子の形について理解している。 b:分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類することができる。 c:分子の極性の有無と形に興味を持つ。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述
2学期	物質量	物質量	a:物質量の表し方の意味がわかる。 b:物質量の概念を使い、粒子数や質量、気体の体積に関する計算ができる。 c:物質量の概念に興味を持ち、粒子数や質量、気体の体積の関係を説明できる。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述
	溶液の濃度	溶液の濃度	a:濃度の表し方にいろいろな方法があることを理解している。 b:質量パーセント濃度とモル濃度の換算ができる。 c:溶液の濃度に興味を持つ。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述
	物質量と化学反応式	化学反応式と物質量	a:化学反応式による化学変化の表し方を理解し、その反応式から物質の量的な関係を見出し、計算することができる。 b:化学反応式の係数から、物質の量的な関係を考えることができる。 c:化学反応式をもとにした物質の量的な関係に興味を持つ。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述

3 学 期	共通テスト対策	共通テスト対策	a:共通テストの過去問を解きながら出題傾向を理解し、基礎的な問題を解くことできる。 b:共通テストの過去問を解きながら文章を読み理解していく力を身につけていくことができる。 c:共通テストで出題されてきた問題に興味を持って取り組むことができる。	定期考査 パフォーマンス課題	定期考査 パフォーマンス課題	学習状況の観察 プリント/副教材の記述

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度